

2020年  
8月1日  
第430号



# JR東海労



〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5

TEL 03-3201-0350 FAX 3201-0351

Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

JR東海労働組合

発行人 木下 和樹

編集人 高山 浩

http://jrtoukairou.sakura.ne.jp/

## コロナ禍を口実とした労働条件改悪反対！ 職場からの闘いで組織強化・拡大を目指そう！ 各地本定期大会が成功裡に終了

各地本は、6月25日から7月16日にかけて、定期大会を開催しました。コロナ禍における状況の中、各地本共に感染対策を行うなどの工夫がされました。木下委員長は、専従として最後となる各地本大会に出席し、共に闘う決意を表明しました。

### 新幹線地本第27回定期大会

新幹線地本は7月16日、目黒さつきビルで第27回定期大会を開催しました。杉澤委員長は、挨拶で「新型コロナウイルス問題で、自粛要請に従わない人に正義の鉄槌とされているが、ファシズム化である。乗務員は消毒行路を設定。乗務員室は密状態。全乗務員にPCR検査をやるべきだ。JR東海ユニオン組合員は、私たちの要求に呼応して会社にものを言っている。『ユニオンは何もやらない』という意識の転換をしなければならぬ。新幹線輸送量の激減で、このままの推移では、大赤字は必至。この先も回復見込みは不透明。内部留保金を吐き出すしかない。経済各紙に『リニア本当に大丈夫か』の見出しで記事が出ている。葛西名誉会長の政治回しで、何が何でも進めようとしている。リニア建設は静岡だけではなく、多くの工区で遅れている。水野さんが執行委員に加わる。しっかり闘っていきましょう」と訴えました。質疑では「車掌の業務



### 静岡地本第31回定期大会

静岡地本は7月9日、静岡労働会館で第31回定期大会を開催しました。半場委員長は、挨拶で「地本第一の課題として、

を下げてはならない」などの発言がありました。伊藤書記長は、総括答弁で「地本は、川本裁判、診断書強要中労委、水野裁判、年休裁判を闘っている。勝利に向けて闘っていく。8月5日にSMTとの団交がある。組合員の意見を思い切りぶつけていく。コロナ禍はこれからどうなるかわからない。世界的規模で猛威を振るっている。私たちは振るってやるべきことをできる限り闘う。専任社員が増える中で、運動の在り方について分会との議論を進めたい」と訴えました。

規模の訂正時間を労働時間とする闘いを展開して、成果を勝ち取ってきた。会社からのパワハラで、申し入れや情報化などの反撃の闘いを展開し、会社の態度を一変させた。しかし、静岡の若い車掌が自ら命を絶つたということが発生した。墓参りを行い、会社と闘うことを決意した。リニア建設で、静岡県知事と社長の会談した。リニアへの疑問の声が出ている。中止させる闘いを展開する。安倍政権を許さず、平和・人権・民主主義を守ろう」と訴えました。質疑では「支社課長代理が病気になるまで、支社に戻った後、他会社に向

した。私たちは強制出向させられたが、この優遇人事は問題だ」「規程の訂正時間を労働時間とする闘いで、①モノ言う組合の存在感を示した、②訂正後の確認は訓練(労働時間)で行うことになった、③会社の主張を引き出した、という成果を勝ち取った」「そもそも、規程は会社が訂正し、乗務員がやるべきことではない」「会社は世間体を気にしてコロナ感染対策は十分に行っていない。感染したら労災になるのかもしれない」などの発言がありました。

渡邊書記長は、総括答弁で「規程の訂正について会社は準備報告時間で行うとしているが、就業規則では『準備報告時間は、1勤務の始業時の準備』と謳われており、これは当てはまらない。さらに会社の矛盾を追及する。会社の人事で、葛西名誉会長が取締役を降した。経営責任を逃れるためではないのか。リニア建設で、推進をしているJR東海ユニオン指導部は、無責任な発言をしている。静岡県民批判が始まった時期と同一である。社員の自殺とされる問題に対して、経営協議会で会社を追及してきて。1人ひとりが闘い向き合おう」と訴えました。

【2面につづく】



### 名古屋地本第30回定期大会

名古屋地本は6月25日、名古屋市・労金山において第30回定期大会を開催しました。

荻野委員長は、挨拶で「新人事・賃金制度の見直しに対して、問題ありの姿勢を貫いてきた。地本は情報をシリーズ化した。未締結以降も、なぜ未締結なのかを広げるために情報を発行し続けた。駅集中旅客システムが2020年12月に10駅導入される。地本は問題を整理するために学習会を開き、その問題点を各自治体へ広げる取り組みを行う予定であると訴えました。

主張をしていく」「出向先の職場は、労働環境、福利厚生は酷い。団交を申し入れて闘っていききたい」などの発言がありました。

御辺書記長は、総括答弁で「ポータスの減額が囁かれている。業績が好調な時でも安定支給を理由に抑え込まれてきた。業績が落ちても、安定支給すべきだ。リニア建設の中止決断は必要である。経営危機の再来はあってはならない。平和の闘いも進めていく。組織拡大を実現し、来年結成30年を迎えよう」と訴えました。

今日まで、献身的に名古屋地本を支え、中央執行委員としても奮闘されました。越坂さんは「退職

しても名古屋地本執行委員として仲間と共に闘う」と決意を述べました。

### 新幹線関西地本第26回定期大会

新幹線関西地本は7月5日、新大阪丸ビルで第26回定期大会を開催しました。

荻野委員長は、挨拶で「コロナウイルス感染拡大で企業倒産、失業、就職活動への影響など、資本主義社会の負の面が露

わになっていく。一部の権力者だけが儲かる社会構造に対決していく組織づくりが求められている。サービック第一事業所における自宅待機をさせない事象、有給休暇指

とリンクさせて進めるよう。熊本を中心とした大雨で、広域異動者の地元でもあり心配し、情報収集している仲間が積極的に行動することが重要だ」と訴えました。

質疑では「有給休暇での自宅待機に課題を課すのは理不尽。自宅待機を労務管理に利用された。JR東海労に対する攻撃である。集会を開催し、闘っていくことを確認した」「コロナウイルスで自由席改札の中止や点呼時のマスク着用を追求してきた。訓練時の感染予防について申し入れを行



った。しかし会社は後手後手の対応だった」「退職した組合員の職務手当の引き去りがあり、その後には再支給された。苦情申告をしたからである。さらなる情宣活動を行う」などの発言がありました。

浦谷書記長は、総括答弁で「職場の問題は、私たちがいなければ問題にすらならない。労働組合視線で取り組んでいきたい。自宅待機外しの組織破壊攻撃への反撃を地本としても共に闘う。今日付けているのは雲南省からのマスク。地域の団体にも配った。本部委員長の専従解除。オールJR東海労としての闘いが必要だ」と訴えました。

当は職名に対して支払われるべきものであるとの認識です。従って、休みなど関係なく職務手当は支払われなければならない。本部は7月15日、「職務手当に関する団体交渉開催の申し入れ」(「申第6号」)を会社に提出しました。申し入れ項目は、以下の通りです。

### 自宅日勤にも職務手当を支給せよ！

職務手当は、「連続して30日以上私傷病等で休んだ場合は支給しない」とされています。しかし会社は、年休で休んだ場合もそれに該当するとして、職務手当を支給しない、または、支給したものを返納させました。

### 『申第6号』で申し入れ

JR東海労は、「連続して30日以上私傷病等で休んだ場合は支給しない」と苦情処理申告を含めてこのことを問題にしたところ、会社は、該当者に職務手当を支給するとし、返納も撤回しました。これまでも会社は、規程を恣意的に解釈し、あろうことか会社は解釈違いに対する団体交渉の申し入れも拒否してきました。

### 通期の業績予想を説明せよ！

会社は、2019年度(令和2年3月期)決算発表の時点で「次期の業績予想については現在、新型コロナウイルス感染症の発生を受けた外出自粛等の影響により鉄道等のご利用が大幅に減少しており、今後も業績に影響を与える未確定な要素が多く現時点で算定が困難であるため未定とし可能となった時点で速やかに公表する」としました。2020年度第1四半期

### 『申第7号』で申し入れ

が終了している現時点、通期の業績予想は明らかにされています。本部は7月15日、「2020年度第1四半期決算及び通期決算に関する申し入れ」(「申第7号」)を会社に提出しました。申し入れ項目は、次の通りです。

### 2020年度第1四半期決算の公表に合わせる

2020年度通期の業績予想を明らかにすること。

### 2020年度第1四半期決算の公表に合わせる

2020年度通期の業績予想を明らかにすること。